



行政チェック

1-1. 宮城県美術館現地存続について__行政へのチェック

(Q1) 今回、宮城県美術館の移転を断念し、現地存続をさせる方針を決めたことは大変評価されることだと思う。しかし令和元年11月に移転計画発表がありその後令和2年11月に突然の現地存続の発表とこの1年間、**何故迷走とも思える程何度も方針を変えた**この状況をどう考えているか、(Q2) また現地存続を決めるまでのプロセスをもう少し**県民に対し説明をすべき**だと思うがどうか。(Q3) それに加えて**検討のための業務委託に関する費用が無駄になっていないか**。知事の所見を伺いました。

(A1) 1. 美術館を集約・複合化する、2. 増築し現地改修する、3. 増築を伴わない現地改修する場合の3案の検討をし、長所・短所の難しい判断が必要になったとのこと。(A2) 県民に対する説明に関しては、コロナウイルス感染拡大の影響を勘案して、要望をいただいた団体を個別に訪問し意見聴取に努めた。(A3) また委託業務では昨年に再編等の検討を行ったが、多くの反対または慎重な対応を求める意見をいただき、時間をかけて検討することが必要との判断だったとのこと。

県側の回答

Answer



環境問題

1-2. 県民会館とみやぎ NPO プラザ移転集約について__環境への配慮

(Q1) 国から2050年までに温室効果ガスの排出をゼロにする脱炭素社会の実現を目指すことが示されました。県民会館と、みやぎ NPO プラザは移転集約する考えが示されています。既存建物が解体となった場合には、解体時点でCO2排出はもちろんのこと、複合化時点での建設時に伴うCO2排出による環境への影響も十分に配慮しなければなりません。国土交通省が推進している**CASBEE (建築環境総合性能評価システム)**でも**建設から解体に至るCO2排出抑制が求められている**。今後の検討において**CASBEEを取り入れた建築計画にするのか**知事の所見を伺いました。

(A1) **CASBEE (建築環境総合性能評価システム)**の考え方を参考に、**環境に配慮した事業の推進に努めて**まいりますとのこと。

県側の回答

Answer



福祉問題

2. 障がい者の就労機会確保について__福祉への配慮

(Q1) 障がいのある人が地域社会で充実した生活を送るためには経済的な自立が不可欠であり、雇用・就労を引き続き促進することが重要です。企業が障がい者の就労を支援する**「みなし雇用制度」が導入されれば障がい者も受注機会が増える**ので県からも強く国へ働きかけを行うべきだと思うがどうか。(Q2) **県の建設に関する競争入札参加資格、総合評価落札方式での雇用状況にかかる加点の見直しをし、更なる雇用の創出を図るべき**と思うがどうか。(Q3) 厚生労働省は2019年4月にカード型の障がい者手帳の交付を認めた。県も**スマートフォンに障がい者手帳の情報を取り込んで画面上に表示するミライロID等デジタル化に取り組むべき**と思うがどうか。

(A1) みなし雇用については障がい者就労支援の拡大に効果が想定されますが慎重な検討が必要とのこと。(A2) 建設の競争入札参加資格等への加点の見直しについては障がい者の雇用の確保にも配慮しながら改善につとめていく。(A3) 利便性向上のため手帳のデジタル化(ミライロID等)について検討していくとのこと。



裏面につづく
□□□□□□>

県側の回答

Answer



県側の回答
Answer

3. コロナウイルス対策について 医療への対策

(Q1) 昨年県内においても9月以降に広い範囲で様々な施設などでクラスターが発生し、県医師会は4月以来2度目の「医療危機的状況宣言」を発表しました。この状況で**ベッド数を増せる目処**は立っているのか、何箇所かの病院での対応可能か。さらに (Q2) **インフルエンザと新型コロナウイルス感染症は見分けがつかず**、医療機関での受入れを心配する声がある医療体制をどう整えるのかを伺いました。

(A1) 新型コロナウイルス感染症を受け入れている20病院と協議をし165床まで増やすこととしている(令和2年11月現在)。(A2) 県医師会等と連携しながら県内450の医療機関を診療・検査医療機関として指定し体制の構築を進めるとのこと。



本会議一般質問はこちらから

県政の課題に対する取り組みを紹介します。



美術館の画期的運営を知る

1. 福岡市美術館視察及び勉強会

宮城県美術館と同じ前川氏設計の福岡市美術館へ視察にいきました。福岡市美術館総館長中川氏の説明の中で最も印象に残ったコメントは「美術品を入れておく建築物も大切な作品の一つであるので作品を捨てたりはしない(つまり価値のある建物を壊したり、新築はしない)という言葉です。元々前川さんの作品は堅牢な作りなのでリニューアル改修をし、なるべく長持ちさせ100年は持たせたいと言っていました。まさに我が宮城県美術館もそうありたいものだ、そうしなければならぬと思いました。

<https://www.fukuoka-art-museum.jp>

気がついたこと



館内で使用している前川氏デザインの家具は、なんと東北が誇る家具メーカー天童木工製作。九州でも布地を張り替え建築当時のまま使われていました。



石田一也議員と共に



福岡市美術館だけでしか買えないお土産がたくさん

緊急重点要望書提出



2. 知事に対する要望活動

令和3年1月21日に来年度に向けた緊急重点要望書を「みやぎ県民の声」他3会派で村井知事に提出しました。要望内容は以下になります。

1. コロナウイルス感染症対策、医療・介護体制、経済対策
2. 災害に強い県土づくりの推進、被災者支援制度の拡充
3. 女川原発2号機再稼働における避難計画等実効性の確保
4. 子育て、教育の充実、いじめや不登校の対策の強化
5. 人口減少、超少子高齢化社会を見据えた対策、地方創生実現に向けた取り組みの強化

県政のこと の課題に取り組みます!

皆さまの声を県政に届けます。皆さまの声を聞かせてください。

[報告者]

みやぎ県民の声 **ます和也**

[所属委員会]

農林水産委員会 / 議会運営委員会 / 再生可能エネルギー・脱炭素対策調査特別委員

〒989-1224

宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬字川根 239-3

Tel : 0224-52-3463

Fax : 0224-52-3463

Email : kayu2934@yahoo.co.jp



facebookはこちらからどうぞ